"ここはエビスのクリプトカフェ&バー

お店には様々な分野のプロフェッショナルが訪れ

たくさんの会話が繰り広げられています

おや?今日はジョイさんを訪ねる方がいらっしゃるみたいですね

一体どなたなのでしょうか

近くなんですよ歩いて4分くらいのところで

そうですか

じゃあちょこちょこ来てください

クリプトカフェ&バーって言って

実験的にやってるお店なんですけど

ここで人が来たりするんですかカフェとかで

イベントもたまにあるんですけど

NFTを買うとメンバーシップがもらえて

今週のお客様は元陸上選手のタムセイ大さん

2001年に男子400mハードルで日本人初のメダルを獲得

この時のタイム47秒89は

未だに破られていないという日本記録保持者でもあります

走る哲学者としても知られるタメスエさんとジョイさんの会話

気になりますよね

何か飲みますか?

コーヒーもらっていいですか?

ホットがいいな

ホットで?

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

はい

 in the cast

よろしくお願いします

ちょっとさっきも伺いましたけど

これが実験的なカフェって感じなんですか?

はいそうです

結構このブロックチェーンとかウェブ3を使って

何をやったら面白いのかなっていうので

コミュニティもあるし支払いもあるし

メンバーシップとかもあるので

クリプトを使ったシステムを作っていくのと

あとはこういう話をするのが好きな人たちの

集まり場があってもいいんじゃないかなっていうので

今とりあえず実験としては

何かすごい

ずいぶん前にラリカルマーケットっていう本を読んで

そこでいろいろ語られてたのが

新しいガバナンスじゃないけど

ちょっといろいろ分散させた方がいいことは

主に流動性について話していただきやすいんですけど

いろんなものの流れをよくやりやすくした方が

より世の中がフラットになったり

動きがあっていいんじゃないかみたいな話だったんですけど

僕はこのウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

ウェブ3とか

どういうことがこの技術を使うとできそうだって感じなんですか

実は確か数週間前ここでラリーカルマーケットを書いた

グレンウィールっていう人がここでイベントをやったので

たまたまなんだけど

彼が書いたラリーカルマーケットにいろんなコンセプトが入ってたと思うんだけども

でも一つ多分重要なのは今だと土地とか

土地いい例だと思いますが持ってる人が何もしなくても稼げるし

稼ぐオブリゲーションがそんなにないと

必ず何でも値段さえ合えば他の人がその土地を買い取ることができる

そうするとある人が回してるけど利益率こんだけしか出ない

誰かがもっといい使い方してもっと高い利益率出せるんだったら

もっと高いお金で買い取れるんじゃないかなっていうので

何もしないでただ持ってるっていうような人を少なくするのと

いろんな土地も含めたいろんな資産っていうのが

もっと使い道があるところに流動的にもあるっていうようなコンセプト一つ入ってて

結構これって面白いなと思ったのは

かなりカピタリストのところ何でもマーケットがあるっていう考え方でもありながら

キャピタルを持ってるだけで稼げるっていうことはなくなるので

なんかコミュニズムとキャピタリズムの間みたいな感じで

結構ラディカルなんだけど

ただこれ実践できてないしいろいろ実験をしようとしていて

もう一つ彼らがクアドラティックボーディングっていうのがあって

これはお金もそうだけど投票をすることで

株なんかでも結局一人一票なのか

株を持ってる人の方が株数分票を取れるかって

どっちもいろんな問題点あるんですよね

やっぱりお金いっぱい投資した人の方が発言権あるべきだよねっていう考え方もあれば

ただお金持ちだけが発言権を持つのも良くないよねっていうので

クアドラティックボーディングっていうのは

クアドラティックボーディングの方が発言権あるんだけども

クアドラティックだからXの4乗分で価値が下がっていくので

一人一票と投票権のちょうど間ぐらいなのとか

そういういろんな実験を考えてたんですよね

ちょっと我慢したらなんか票が増えていって

ここぞって時にはそれを使えるとかそんなアイデアもありましたね

そういうのあります

だから多分ボーティングのいろんな新しいアルゴリズムとか

使用権をどうやって流動性を高めるかとかっていう

ガバナンスのことを

ラディカルマーケットと考えていて

最近彼らがオルドリー・タンクっていう台湾のデジタル大臣と一緒に

プロラリティっていう言葉を使ってて

これは多様性だとか

みんなで一緒にやっていく新しいフィロソフィーみたいなのを考えていて

それがラディカルマーケットと融合して

確か新しい本を書いてるんですけども

これはそのウェブ3を使った新しいボトムアップの

いい中央集権型の社会のことを彼らはいろいろ考えていて

話としては

すごく面白くて

ただなかなかまだ実践できていない

実践のところは難しいって感じなんですかね

でも台湾で結構いろんな実験やってるんですよ

台湾って面白い国で

若いハッカーたちが国をほぼテイクオーバーするんですよね

テイクオーバーしたんだけれども

かなりまだ残ってるんですよ

だからデジタル大臣もこのハッカーの仲間で

だから学生が国をテイクオーバーして

そのまま残ったっていう民主主義って今あんまりないんですよね

結局

アラブスプリングなんかでも戻っちゃったし

だからそういう意味で台湾はかなりデジタルリテラシーが高い

若者が運営してるので

あそこでいろんなデジタルマーケットみたいなものの

実験台となってるみたいですね

面白いですね

でも結構そういう経済だとか投資とか

その辺の勉強されてるっていう話ですね

僕はスポーツなんですけど

でも一番興味があるのが

どういう状態が一番

全体が活性化してるかっていうことに興味があって

僕は自分の体だけの世界だったんで

自分の体してるんですけど

例えば秩序がすごい強くなりすぎると

毎回このトレーニングやったらこんな結果が出るって

分かってくるんですけど

一方でそれって安定するんだけど

全然伸びなくなるじゃないですか

どういうぐらいカオスっていうのかな

予想不可能なものが入ってて

どのくらい安定してるかって

この比率があるんですよね

それによって活性度合いっていうのかな

元気度合いがある

それ結構いろんな意味で重要だと思うんですよね

今例えば環境なんかでも

炭素を見てるじゃないですか

もちろん炭素が高いのは良くないって分かってるけれども

それだけ最適化しても

きっとシステムが元気にならないと思うんですよ

そもそもなぜ炭素ができてるかとか

炭素なくすと他にどうなるか

さっきのスポーツのところでちょっと僕も聞きたかったんだけども

だからSDGsだとか

炭素とか一つの数値だけで最適化しても

健康も体重だけで健康は測らないし

スポーツもシステムだから

今おっしゃったようにこればっかりやったからって

全体が良くならないとうまくいかないじゃないですか

だからその幸せの最適化とか

環境の最適化とか

この元気の最適化って

実は普通の今の経済の人たちが考えるような

最適化不可能なんじゃないかなと思うんですけど

スポーツもちょっと似てるんじゃないかな

それはねすごい僕らの中で

ずっと昔から使われる風刺画があるんですよ

漫画みたいなやつ

ある選手を真ん中にして

心理学の人が

ちょっと今調子が悪いんですって

真ん中の選手が言ってて

心理学の人があなた今

心がちょっと落ち込んでますねって言って

栄養士の方が

栄養バランスが崩れてますねって

ストレングストレーナーの人が

ちょっと筋力が落ちてきてますとか

でコーチが

いや技術がなんとかだっていう

で

それぞれの専門家が専門の指標で

その人の問題を分析するんだけど

一体誰が全体を最適化するのかみたいな

選手にとっての最適な状態って

自分と周りの環境との間の

良いバランスかつ

自分の体の中も

別に心と体は分かれてないんで

例えば

お酒は飲んじゃいけないかもしれないけど

でも飲んだ方が

メンタル的にはいいかもしれないとか

そういう層がコンフリクトするんだけど

なんかちょうどいいバランスっていうのがあって

こっちから

見るとそれは悪なんだけど

反対から見ると

むしろそれで改善されるものもあるかもしれないっていう

だからこの何かの指標で

測った瞬間に

全体のバランスが損なわれるんで

半分の目で指標を見ながら

だけどこれが全てじゃないっていう

バランス取らないといけない

っていう感じなんですね

あんまりにも一個の指標にかけると

その指標だけに最適化されて

すごいなんかいびつになっちゃって

結局伸び止まったり

怪我を起こしたり

っていう

そういうふうに捉えてますね

あと時間軸もあるよね

時間軸もありますね

だから今すぐ成果出すのと

10年ぐらいかけてトレーニングするのって

全然違うでしょ

だから僕ら高校だと

インターハイチャンピオンっていう人が

高校のチャンピオンなんですけど

日本だと

インターハイチャンピオンたくさん作れる学校と

オリンピック選手を作れる学校ってずれていて

やっぱり3年間で強くする方法と

10年20年かけて強くする方法ってのは違ってて

早く強くしようと思うと

とにかくあんま考えなくていいから

このやり方でやってっていうのが一番良くて

"

"長く強くしようと思うとちょっとさまよわせるっていうか

迷いながら自分であれこれ試すようなやり方を覚えた方が

伸びていくって言われてますね

一つ聞きたかったのが学務とか社会だと

結構多様性って重要だと思うんですよね

人間も一人それぞれ多様性もあるし

チームとしても多様性が必要なんだけども

陸上でハードルとかなんかやってて

そこは多様性って

チームの中に

チームなのか自分の中か分かんないけど

結局特に陸上なんかはすごく分かりやすいところに狙ってるので

そこは多様じゃないよねっていうふうに思うんですけど

トレーニングで多様性とかって関係あるんですか

食べ物の多様性とかなんかあるのかもしれないけど

多様性でアイデアでいくと

スポーツはやっぱり各競技のルールが100年ぐらいあんま変わってなくて

これがいい結果であって指標も単一なんですよねタイムだから

だからどっちかっていうと

本当にどんどん

どんどんどんどんある形に最適化していくみたいな感じではあるんですけど

ただトレーニング理論でいくと

良いトレーニングも繰り返すと意味がなくなるっていう格言があって

つまり体が慣れちゃうとかその刺激に

そうするとちょっとハードルとは関係ない刺激だけど

例えば水泳やってみるとか

まっすぐ走るのじゃないのやってみるとか

分かりやすいのできると反対回りに走るとか

そうすると今までとは違う刺激なので

結果それによって揺さぶられていくとか

発展するっていう

なるほどそれが多様性ですよね

そうそう時間軸的な多様性みたいな感じで

怪我もその方が防げるって言われてますね

やっぱり同じことを繰り返すと

そうですよね

だからどのくらいの加減で自分を揺さぶるかっていうのは

すごい重要で

最初のうちは決められたことやってっていいんですけど

最後ある程度まで来た後は

とにかく自分をいろんな刺激で揺さぶらなきゃいけない

その時の多様さはすごい重要だと思いますね

そうですよね

それもだいぶ

それもだいぶ

それもだいぶ

最近になって変わりましたよね

僕も昔高校時代ずっとレスリングとかやってて

いろんなトレーニングやってたんだけど

あの時代はなんか同じ運動を結構繰り返してたような気がするけど

最近は最適化がちょっと違うとこに行ってるかもしれないけども

限りなくたくさんいろんな種類の運動をやって

怪我をしないでバランス取るっていうイメージ

なんか全然昔と違うイメージなんですね

そうですね

だからその

なんていうか最後の方って

ちょっと英語の勉強してる時に

言葉に似てる

言葉に似てるなと思ってて

自動的にしゃべれるようになった言葉をつなげて

なんとか文章にする

第二言語ってすると思うんですが

あれに似てて

だから例えば僕は

踊るのすごい下手なんですけど

車高ダンスのチャチャっていう動きあるじゃないですか

あのチャチャのある動きだけすごい上手だって先生に褒められて

それはハードル飛ぶ時の動きに似てるんですよ腰の動きが

だからあんな風に過去にやった動きが

無意識でできるようになったものを組み合わせて

何かを作っていくんで

子供の時にだからたくさんいろんな動きをしておくと

その後将来なんか文章にしたいみたいな

動きの文章にしたいみたいな時に

うまく組み合わせられるようになるんで

だからいろんなことやっておく方が

そうですよね

豊かな文章作れていいみたいな感じで

推奨されますね最近はね

だから一個だけやらないようにっていう

なるほど面白いですね

はい

ジョイイトーズポッドキャスト

話を聞いてて

昔パンクだったって

パンク

ちょっとこう

モフィカンしてたとか

そうですね

ジョイさんはいくつからアメリカですか

僕は2歳の時からアメリカとカナダ行って

14ぐらいかな日本に戻ってきて

インターナショナルスクール行って

またアメリカ大学行って

中退して戻って行って中退して戻ってっていう

なんかそんなような

日本の体育会に放り込まれたことってないですか

僕はね日本は高校でレスリングやってて

アメリカンスクールだったんだけど

コーチがオリンピックの日本人の関山先生っていうコーチで

彼が中央高校とかっていうところに

たまに連れて行かれたり

あとはその当時の高校からちょっと辞めた時のコーチも

やっぱりレスリングのオリンピック選手で

なんかノリはとっても体育会系なとこは見たことある

けどあんまりぐちゃぐちゃに入ったことはないですね

すごい嫌いだったんですよ体育会の動きが空気が

学校が体育会だったんですかそれとも体育が体育会系

陸上はそれでも弱いんですけど

僕らデータが取れるんでサイエンスが入りやすくて

水飲むのと飲まないのやったら飲んだ方がパフォーマンスいいよね

とかデータが取れちゃうんで

そういうのは少ないんですけど

でもそれでもやっぱりちょっと決められたことやらなきゃいけないとか

なんかこう先輩後輩があったりとか

ルールがあったりして

まあとにかくそういう権威的なものっていうか

なんか決められてることとかすごい多分嫌だったんですよね

だからちゃんとしてなきゃいけない日本のスポーツはね

でもなんか当時はあんまり金髪にしてる高校生とかいなかったんで

金髪にして試合に出たりして

それですごい怒られる連盟に怒られたりして

とかっていうのはあったりして

それはモチベーションは何だったんですか

ただこう若いから逆らってただけなんですか

そういうのもある

ありったら

まあ今考えて

でも自由の制限が一番嫌だったんだと思います

それはね今もずっと残ってて

とにかく自由が制限されると

まあ人の制限もすごい嫌なんですけど

こっち側がひったりかを制限するのも

制限する方も嫌な

する方も嫌だしされるのも嫌で

だからそれはまあ良くないところまで

例えば会社作っても会社のなんかきっちりしたルールを作って

秩序を作るとかがうまくできないんで

自分で会社やってもそれ悩んだりするんですけど

まあ個人としてもやっぱりなんか自由っていうのが

まあ大事な価値観においてて

当時はなんかそういうのが

まあそういう髪染めて何なんだって感じなんですけど

まあそれが一番日本の大会では逆らってる風だったんで

なるほど確かに

でもジョイさんがパンクってこれ共通のテーマだから

ジョイさんもちょっとそういうのが

僕はだから多分性格のタイプっていろいろあると思うんだけど

僕なんかはこうなんかこうガンガン逆らうっていうよりも

逃げるだからやっぱり日本の田舎でニュージアムみたいなとこ行って

うんうんうん

座ってデスクで先生の話を聞かなきゃいけない

これ多分最初のメモリーです

4歳ぐらいなんじゃないかな

で先生が見てないと必ず逃げたのね

で外が楽しくて

で毎日逃げたらもう来なくてもいいって言われたっていうのが

多分最初の僕の学校とのダメだったので

その後もやっぱり学校の中できちっとなんかやるっていうのはできなくて

いつも休んだり逃げたりしてて

でそういうこうなんか制限されるところからは

脱出しちゃうっていうのがパターンなんだけども

でもそこなんかこうえいってやってるよりも

むしろただつまんないから離れるみたいな感じで

でやっぱり楽しいことをしたいっていうすごい自分のパッションがあって

でつまんないものからなるべく離れるっていうことも

すごいちっちゃい時からやってて

でそれがだんだん大人になってくると

やっぱり自分がきっとつまんなくなるだろうなところをなるべく

避けるっていうのと

あとはこれは本当に何歳かな

40代ぐらいになってから分かったのが

最初ちっちゃい時は役に立たないものにハマってたの

ビア缶を集めるとか

熱帯魚が好きだとか

でそれなりにさっきのハードルのあれじゃないけども

後で役に立つものが中にはあるんだけども

でもだんだん会社とかやるようになって

ハマって役に立ちそうなものにハマる

例えばプログラミングだとか会計とか

それでやっとちょっとずつこう自分の

社会人として役に立つスキルが蓄積できたんだけども

ただ人に言われたからやるのって絶対モチベーションにならなかったし

で結構学校とか秩序って外に評価されるとか

先生に対して怖いからとか

恐怖と対外的な評価システム

それは僕はあんまり自分の気持ちにならなくて

でもやらなきゃいけないよね大人だからって言うと

そうすると自分の趣味にして

そこからこう学んでいくっていう自分のトレーニングを

やっと今になって

だから今年から本気で数学やろうと思ってて

前ちょっとプログラミングやってたんだけども

それもきちっとソフトウェアかけるように

今から勉強しようっていうの今

でも結構楽しくやってるんだけど

でもそれだからパンクとは言いながら

パンクのコミュニティは好きだったのね

属しない人たちって相性が良かったので

だからシカゴ大学も中退して

結構パンクなナイトクラブのディスクジョッキーになったり

そういうこう

なんかガチャガチャした尖ってる人たちの仲間に入ると

すごく居心地良かったんだよね

で本当にみんな自分があって

その自分がちゃんとこう出てる人たちと一緒に入ると

なんかこう居心地良かったっていう感じ

なるほど

僕はやっぱり陸上やってた

そこから出られなかったのはあるかもしれないですね

それをそうだよ

だって陸上とかスポーツって

システムに入ってないと評価できないもんね

そうですね

そもそもね

でも陸上選んだのは何だったんですか

足が速かったんですよ

あーそっから始まるのね

僕は全然他がダメで

球技もダメだし

運動神経って体を動かすっていうのと

ハンドアイコーディネーションって僕ら言うんですけど

飛んでくるものを目で見ながら

手でピタッとキャッチするっていうのって

そういう能力があるんですよね

僕はそれがすごい苦手で

バレーボールでトス上げたら

ボールと一緒にジャンプしちゃって

一緒に落ちてきちゃうみたいな

なんていうのかな

ボールが飛んできて

バレーボールが飛んできて

"

"バットにも当たらないしっていうので

ボールにとにかく弱かったんですよ

野球もダメサッカーもダメ

でもスポーツやらなきゃいけなかった理由は

そういう学校にいたとかそういうのですか

なんかそれが一番面白かった

あとは読書が好きで本を読むので

でもちょっと活発だったんで

走るっていうのを始めて

陸上やった

でもメダル取るとこまで行ったっていうことは

ただ足が速いだけじゃなくて

やっぱりトレーニングだとか

それこそ最適化が上手だった

っていうこともあると思うんですけども

それは全部パンクにつなげる必要ないんだけども

勝手に思うと

やっぱり自分のモチベーションとか

メンタルを上手に考えて

進められたんじゃないかなと思うんですけども

しかもコーチなしなんですよね

そうコーチ18からはいなかったですね

そもそもそれのモチベーションっていうのは

楽しかったからやってたんですか

それともやらなきゃいけないからと思ってたんですか

やっぱり前半は勝ちたくて

僕はもう広島のほんと小さい

街から出てきたんで

走って強くなっていくと

どんどんどんどん

新しい世界が見えてくるっていうのが

すごい面白くて

子供の時に広島と山口県の県境っていう境目があって

それがどうなってるか

見に行ったんですよ

その時に

知らないとこにどんどん見に行ってみたいって思って

一番その時に

速く走るのって

外に行くのにすごい東京の大学とかも

行けるかもしれないし

オリンピックとか行ったらいろんな国の人に会えるかもしれない

のでやってたんですけど

でも途中からは

面白かったですね

人間の体のこともそうだし

心が特に面白かったですね

なんで人間って面白いって思う瞬間と

嫌だって思う瞬間があって

頑張ってねって

言われるのが嬉しい時と

プレッシャーに感じる時とかが

自分の体で

人間の心が

どういう時にどう動くのかっていうのを

見てるのはすごい面白かった

っていうので

である

いい状態で試合に臨むといい結果が出るし

なんかちょっとだけでも

試合の瞬間にパッと不安が浮かぶだけで

ダメになったりっていう

ああいうのが面白かったですね

タメセイさんとジョイさんの会話は

まだまだ続きます

来週もお楽しみに

そしてタメセイさんの著書

熟達論は新調者から

発売中です

こちらも合わせてお楽しみください

番組ではオリジナルNFTを無料でプレゼントしています

ご希望の方は特設サイトにて

次の問題の答えを入力してください

ラディカルマーケットの著者グレインワイルと

台湾のデジタル大臣オードリー・タンが

打ち出している概念の名前は何だったでしょうか

大文字半角英数字でお答えください

サイトのリンクは

番組詳細欄に記載してあります

また変革コミュニティのメンバーは

答えをお店サイトで入力してください

正解された方には

100変革をプレゼントします

デジタルガレージは

危険な海に最初に飛び込む

ファーストペンギンスピリットを

創業以来大事にし続けています

これから来る

Web3

オープンソース時代を見据えた

テクノロジーで

新たなビジネスを生み出す仲間を募集しています

番組詳細欄にあるリンクより

ぜひご覧ください

Web3 is here

Join us

Join the first Penguins

New Contacts Designer

Digital Garage

"